

公益社団法人 地盤工学会
平成22年度第7回技術普及委員会
議事録

日時	平成23年2月10日(木) 13:00~16:00					会場	地盤工学会地下会議室	
委員長	村田 芳信	○	幹事	原 忠	○	委員	王 林	○
委員	秦 樹一郎	○	委員	伊藤 和也	○	委員	栃尾 健	×
委員	舟橋 景介	○	委員	北田 貴光	○	委員	今井 優輝	○
委員	水野 健太	○	委員	長屋 淳一	○	委員	渡邊 康司	○
委員	野末 康博	×	委員	山川 優樹	×			
事務局	永田 満枝	○						
○:出席 ×:欠席 △:未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (別添資料1)
水野委員が指名された。
2. 前回議事録の確認(12/10) (資料-1)
前回議事録(秦委員担当)が承認された。
3. 第3回理事会 (1/28) 議事録案 (資料-2)
村田委員長より第3回理事会の概要について報告があった。
4. 事業部会報告 (12/11) 議事録案 (資料-3)
村田委員長より、(公益社団法人)第1回事業部会の概要について報告があった。
5. 図書出版作業進捗状況 (資料-4)
講習会開催に係る図書出版作業状況を確認し、担当委員を決定した。
 - ・「近接施工」:4月出版、7月講習会で調整。担当:原幹事→山川委員
 - ・「山留めにおける創意・工夫」:単独本として出版。講習会の開催方法については、宮崎先生と要相談。
担当:渡邊委員(村田委員長がサポート)。
 - ・「土の締固め」:6月出版。担当:渡邊委員
 - ・「シールド工法」:9月出版。担当:長屋委員
 - ・「性能設計」:9月出版。担当:秦委員
6. 平成22年度講習会収支報告 (資料-5)
以下の講習会収支が報告された。収支内容は以下の通り。

	収入予算 (円)	収入実績 (円)	支出実績 (円)	実績の収支差 (円)
地盤の地震応答解析入門	440,000	874,000	319,689	554,311
既設構造物直下の液状化対策工法	520,000	457,000	173,777	283,223
地盤・耐震工学入門	400,000	321,000	100,171	220,829
建設・産業副産物の地盤工学的有効利用	440,000	271,000	170,622	100,378
地盤工学者のための舗装入門	480,000	278,000	246,621	31,379
切土・盛土および斜面の自然災害	400,000	832,000	313,261	518,739
土を固める原理と応用	400,000	420,000	142,926	277,074
地盤に関する解析技術(個別要素法)	160,000	276,000	312,056	-36,056

※「地盤の解析技術(個別要素法)」:参加者は多かったが、土木学会との共催のため参加費が低価格の設定であり、なおかつ印刷費がかかっているため、収支差はマイナスとなった。テキストの残部を販売に回しており、収支はプラスになる見込み。H23年度も「地盤の解析技術(粒子法)」が企画されているが、申し込み人数が予想を上回った場合、別会場で開催するのではなく、2度に分けて開催するなど調整してもらいたい(村田委員長)。

※「切土・盛土および斜面の自然災害」は参加者が多かった。H23年度は講習会後に懇談会的なフリータイムを設定するなど趣向を凝らしたい(王委員)。テキストの残部は143部。

7. 平成22年度開催講習会アンケート集計結果 (資料-6)

各担当委員より、講習会の開催結果が報告された。

8. オンデマンド講習会WG報告 (資料-7、11)

原幹事より、内規、講習会開催・運営手順についての報告があった。

OD講習会講師に支払う資料作成費の扱いについては、今後ODWGで要議論。

KITより収録・編集作業の有料化に関する申し出があった。

学会としては、①コンテンツの分割販売、②団体視聴割引等の販促を進める意向。

9. 埼玉県建設コンサルタント技術研修協会主催の技術講習会会費について (資料-8) (参考資料-1, 2)

事務局より地盤工学会が共催した講習会についての報告があった。

地盤工学会が他の団体の講習会を共催する場合のルールがないのが現状である。

公益社団法人の会計上の問題、技術推進か広報かの問題もあり、今後の課題である。

審議事項

1. 平成22年度技術講習会進捗 (資料-9)

今年度は、2/14「特殊土の基本性質」、3/15「施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画」の2本を残すのみ。

2. 平成23年度講習会開催について (資料-10) (別添資料-2)

(1) 「事業継続計画 (BCP) に役立つ地盤改良」について(伊藤委員)

- ・ 関東支部主催、本部共催で進める方向。
- ・ 価格設定は未定。
- ・ 本部が共催する場合は、広報に関しては可能な限り協力し、運営その他は支部で進めるのが基本(会告は支部欄。本部HPでもアナウンスは可能だが、申し込み等は支部HP)。
- ・ 今後、他の支部より同様の依頼が想定されるため、ルール作りが必要。

(2) H23年度4月～6月講習会について

- ・ 4月～6月開催の検討を急いでいただきたい。初級講習会を集中的に実施してもらいたい。「地盤環境振動」、「連続体力学」、「耐震工学入門」、「はじめて学ぶFEM」、「技術士」、「舗装入門」など。(村田委員長)
- ・ 「海外工事と国際協力」は、前倒し開催が可能な状態。木村先生に確認する。(伊藤委員)

3. オンデマンド講習会内規等について (資料-11)

- ・ 内規：承認。
- ・ 講習会開催・運営手順:事務局欄に、「前年8～10月に映像配信会社へOD対象講習会を連絡」を追加。

4. 次年度委員について (資料-12)

- ・ 退任：原幹事、伊藤委員、舟橋委員、北田委員、王委員、今井委員、水野委員。
- ・ 新委員の推薦については、各委員で調整中。

次回委員会開催日 平成23年 3月 7日(月) 14:00～17:00

於:地盤工学会 地階B会議室

以上